

子ども特派員 わが街を行く！

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、豊小学校6年生の松尾奈々さん（一番左）、海野沙実さん（左から2番目）、石引花明さん（左から3番目）、豊田さくらさん（一番右）が、「伊奈学校給食センター」「市立図書館」を訪ねました。

私たちの健康を支える給食

私たちは、いつも私たちの給食を作ってくれる伊奈学校給食センターを訪ねました。私たちがいつも食べている給食、とても栄養のバランスがとれているものでした。こんだては、栄養士さんの好みではなく、小中学生の健康な体づくりのためにつくられていました。



楽しい本がいっぱい！

図書館は、本を借りる人や学習する人に利用されていました。年間に約3万2000人が来館するそうです。

図書館には、平成23年末現在、約14万～15万冊の本があるそうです。そのたくさんの中からお気に入りの本を探るのに、コンピューターがありました。コンピューターを使えば、読みたい本がどこにあるのかすぐ分かったり、貸し出し中かどうか調べたりできるので、とても便利でした。

館長さんは「本を読んで学ぶことは社会を支える力になるのでたくさん本を読んでほしい」と話してくれました。本がたくさんそろっている図書館で、いろんな本を借りて読みたいと思いました。



今回の特派員は、私達です！

給食で使う食材は、つくばみらい市産を多めにしているそうです。米やきゅうりは、年間を通してつくばみらい市の農家で作られたものを使っているそうです。私たちの健康な体づくりのために考えてくれた給食でも、何十キロと残飯として返ってきてしまうことがあると聞きました。私たちは、つくばみらい市の農家の方がいっしょうけんめいにつけてくれた食材、私たちの健康な体づくりのための給食を残さないで食べようと思います。これからも私たちのためにおいしい給食をつくってください。



私たちは、図書館に来ている親子にインタビューしました。「本がたくさんあり、読みたい本も予約でき、とても便利」と話してくれ、週1回は来ているお気に入りの場所だそうです。

図書館にはたくさん本があり、自分の読みたい本がすぐに見つけることができます。皆さんもぜひ図書館に遊びに来てください。

